



2025年2月28日

株式会社あいち銀行

## 株式会社スタッフシュウエイとの ポジティブ・インパクト・ファイナンスの契約締結について

株式会社あいち銀行（頭取 伊藤 行記）は、株式会社スタッフシュウエイ（本社 愛知県東海市、代表取締役 内藤 明）と、ポジティブ・インパクト・ファイナンスの契約を締結しましたのでお知らせいたします。

当行はこれからも、お客さまの多様化する資金調達ニーズに応え、SDGsの趣旨に賛同するお客さまとともに、持続可能な社会づくりを目指してまいります。

### 記

#### 1. 融資概要

契約締結日	2025年2月28日（金）
融資金額	130百万円
融資期間	5年
資金使途	運転資金

#### 2. 株式会社スタッフシュウエイの概要

本社所在地	愛知県東海市名和町後西19番地
代表者	内藤 明
事業内容	介護事業 一般労働者派遣事業 有料職業紹介事業 外国人技能実習制度サポート事業
設立	2002年

**3. 特定されたインパクトと測定するKPI（2030年に向けた目標）**

(1) 介護事業の強化による高齢化社会に対する貢献および人材派遣業を通じた取引先企業の成長支援
①令和11年6月期までに売上高250億円を達成する （令和6年6月期:129.9億円、令和5年6月期:77.9億円、令和4年6月期:47.1億円） ②令和11年6月期までに介護事業における売上高220億円を達成する （令和6年6月期:106.2億円、令和5年6月期:57.8億円、令和4年6月期:32.1億円） ③令和11年6月期までにナーシングホームを新たに60施設開設する （令和6年6月期時点の総施設数:38施設）
(2) 適切な資源利用による環境への配慮
①令和7年6月期中にナーシングホーム部門における1施設あたりのシーツ(リネン)使用量を可視化・把握し、令和9年6月期までに使用量を5%削減する ※以降の目標は改めて設定する
(3) 働きやすい職場環境構築による専門人材確保・活躍支援
①令和11年6月期までに介護士資格者を350名新規採用する （令和7年2月時点:1,451名）

&lt;記念盾贈呈式の様子&gt;


 あいち銀行  
 名和支店長 松永 俊之

 株式会社スタッフシュウエイ  
 代表取締役 内藤 明 氏

#### 4. ポジティブ・インパクト・ファイナンスについて

国際的な金融原則の枠組みに沿った融資商品で、お客さまの企業活動が環境・社会・経済に及ぼす影響を包括的に分析・評価（以下、「インパクト評価」）します。インパクト評価により特定されたポジティブな影響の増大とネガティブな影響の低減に向けた取り組みに対して目標（以下、「K P I」）を設定し、モニタリングを実施することで、当該取り組みを継続的に支援いたします。

K P Iの達成に向けて取り組む過程を対外的に発信することで、お客さまの社会的評価の向上が期待されます。

本商品では当行がインパクト評価とモニタリングを実施します<sup>(※1)</sup>。

(※1) 当行のポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体系は、株式会社格付投資情報センター（R & I）より、国連環境計画・金融イニシアティブ（U N E P F I）が制定したポジティブ・インパクト金融原則（P I F原則）への適合についてセカンドオピニオンを取得しています。

以 上



「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」評価書  
～株式会社スタッフシュウエイ～

2025年2月28日  
株式会社あいち銀行  
営業企画部  
ファイナンス戦略グループ

## 目次

はじめに.....	2
1. 企業概要.....	2
①会社概要.....	2
②沿革.....	2
③許可・認証取得一覧.....	3
④ビジネスモデル図.....	4
⑤経営理念.....	5
2. 事業内容.....	6
①介護事業.....	6
②人材派遣・職業紹介事業.....	8
3. 地域の課題解決に向けた取組み.....	9
①愛知県の指標.....	9
②株式会社スタッフシュウエイの取組み.....	10
4. インパクトの特定.....	12
①インパクトマッピングによるインパクト分布.....	12
②インパクト分布図（掲載は主要業種のみ）.....	12
③国内のインパクトニーズ.....	14
④特定したインパクトに対するあいち銀行の方向性との確認.....	15
5. 測定する KPI.....	16
①介護事業の強化による高齢化社会に対する貢献および人材派遣業を通じた取引先 企業の成長支援.....	16
②適切な資源利用による環境への配慮.....	17
③働きやすい職場環境構築による専門人材確保・活躍支援.....	17
6. インパクトの管理体制.....	18
7. モニタリング方法.....	18
8. 総括.....	18

## はじめに

株式会社あいち銀行は、株式会社スタッフシュウエイの事業が「環境」・「社会」・「経済」に与えるインパクトを分析・評価し、「ポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下、PIF）」を実行した。

なお、株式会社あいち銀行は、国連環境計画・金融イニシアティブ（以下、UNEP FI という）が策定した「ポジティブインパクト金融原則」、及び、環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、株式会社スタッフシュウエイの事業活動を分析・評価し KPI を設定した。

### <融資条件概要>

融資形態	証書貸付
融資金額	130,000,000 円
資金使途	運転資金
融資期間	5 年

## 1. 企業概要

### ①会社概要

会社名	株式会社スタッフシュウエイ（STAFF SYUEI Co.,Ltd）
設立年月日	2002 年 1 月 18 日
資本金	10,600,000 円
代表取締役	内藤 明
事業内容	介護事業 一般労働者派遣事業 有料職業紹介事業 外国人技能実習制度サポート事業
本社所在地	愛知県東海市名和町後西 19 番地
従業員数	1,844 名（2024 年 6 月 30 日現在）
売上高	12,992 百万円（2024 年 6 月期）
決算日	6 月 30 日

### ②沿革

年	概要
2002 年 1 月	法人設立
2012 年 6 月	アクアデイサービス開始
2018 年 8 月	医療対応住宅型有料老人ホーム開始

### ③許可・認証取得一覧

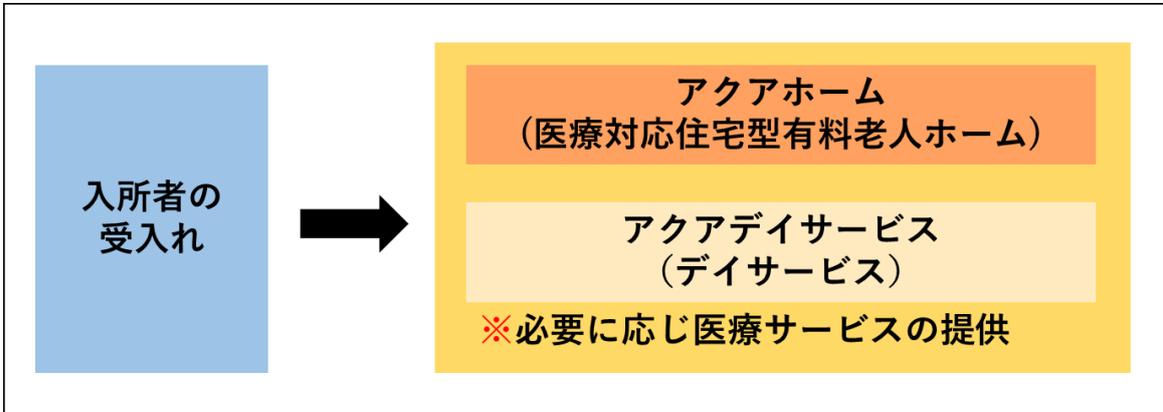
一般労働者派遣許可証	般 23-050007
有料職業紹介事業許可証	23-ユ-300100

#### 【ロゴマーク】

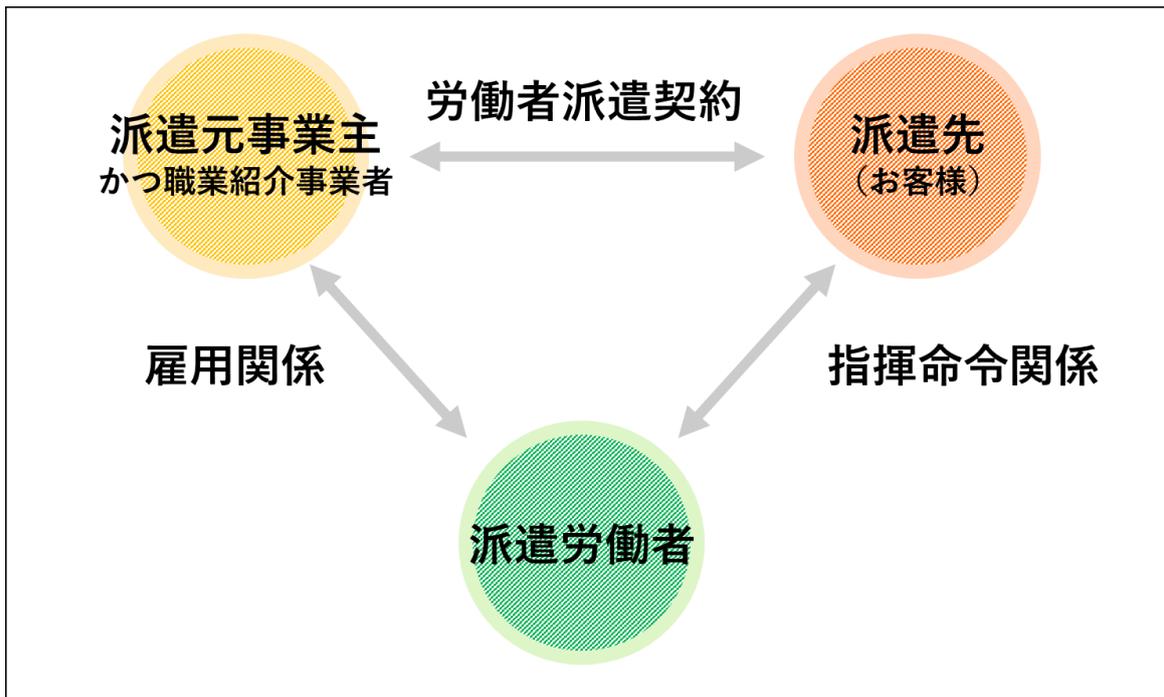


#### ④ビジネスモデル図

<介護事業>



<人材紹介・職業紹介事業>



## ⑤経営理念

### 経営理念

**誠実・忠実・堅実**

### ～社長メッセージ～

私たちは工場内作業を中心に手掛けるアウトソーシング企業として誕生しました。以来、誠実・忠実・堅実をモットーに信頼を積み重ね、事業領域を拡大しながら成長を続けてきました。現在はシュウエイグループとして人材サービス事業、警備事業、介護事業、教育事業など、さまざまな事業を展開していますが、これらはすべて時代のニーズや課題と真摯に向き合ってきた結果だと考えています。

私たち自身もリスク対策、売上向上、業務効率化などさまざまな課題に直面していますが、技術力の向上や生産性の向上、多様な働き方をサポートする環境づくりなど、持続的な挑戦と時代の変化に合わせた営業展開によってさらなる進化を目指してまいります。

## 2. 事業内容

### 【事業概要】

- ①介護事業
- ②人材派遣・職業紹介事業

株式会社スタッフシュウエイは、①介護事業②人材派遣・職業紹介事業を主な事業としている。

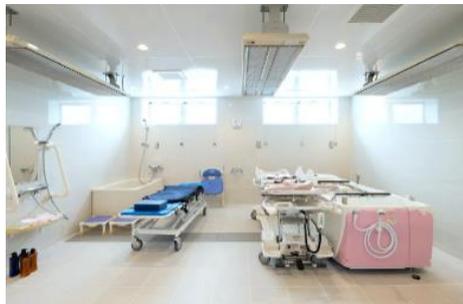
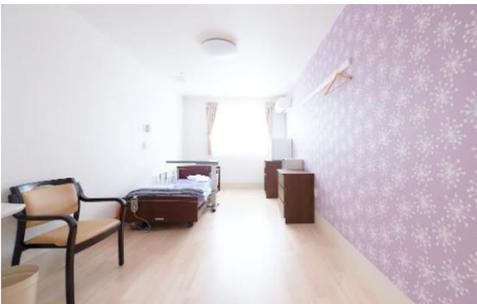
少子高齢化やグローバル化など、時代とともに人や社会が抱える問題が大きく変化し、人々が求める働き方・暮らし方が多様化する中、多様なニーズをくみ取り、寄り添うことで最適なマッチングとサポートを提供、「人と企業」「人と社会」「人と人」をつなぐ架け橋となることを企業コンセプトとしている。

### ①介護事業

愛知県を中心に医療対応住宅型有料老人ホームや地域と連携したデイサービスを運営している。地域密着型の「アクアホーム」や、コミュニケーションを重視した小規模体制の「アクアデイサービス」など、より良いセカンドライフを実現するための事業に取り組んでいる。

#### <アクアホーム>

24時間365日看護師が常駐している、医療対応住宅型有料老人ホーム。月2回の定期往診や臨時往診のほか、抗がん剤点滴やインスリン投与、経管栄養など、経験豊富な看護師のケアを受けることができ、医療依存度の高い入居者でも安心して生活できる環境を整えている。



<アクアデイサービス>

“もうひとつの我が家”をコンセプトとしたデイサービス。利用者の意思と人格を尊重しながら、食事の提供・入浴・排せつ・食事・レクリエーション等の介護を行っている。要支援・要介護認定を受けた要支援1～2から要介護1～5の利用者まで幅広く利用実績があり、また医療処置を行う事ができるため、経管栄養、インスリン投与、吸引などの医療ケアが必要な利用者も受入れ可能となっている。

アクアホームで対応している医療行為

○	点滴管理 CV管理	○	インスリン投与	○	褥瘡処置 創傷処置
○	人工呼吸器 TPPV・NPPV	○	ストマ管理 ウロストミー	○	心肺停止 救急搬送
○	在宅酸素	○	麻薬内服管理	○	外来への定期受診
○	経管栄養	○	抗がん剤内服	○	透析治療
○	頻回な吸引	○	抗がん剤点滴	○	輸血治療

【施設一覧】

アクアホーム（記載は愛知県のみ）

・医療対応住宅型有料老人ホームアクアホーム	安城堀内（安城市）
・医療対応住宅型有料老人ホームアクアホーム	日進浅田（日進市）
・医療対応住宅型有料老人ホームアクアホーム	緑大高（名古屋市）
・医療対応住宅型有料老人ホームアクアホーム	岡崎宇頭（岡崎市）
・医療対応住宅型有料老人ホームアクアホーム	港こうよう（名古屋市）
・医療対応住宅型有料老人ホームアクアホーム	岡崎鴨田（岡崎市）
・医療対応住宅型有料老人ホームアクアホーム	小牧若宮（小牧市）
・医療対応住宅型有料老人ホームアクアホーム	一宮起（一宮市）
その他東海地方を中心に計 38 施設を運営（2024 年 6 月時点）	

アクアデイサービス

・アクアデイサービス	のぶちゃん（東海市）
・アクアデイサービス	平塚中堂（神奈川県平塚市）
計 2 施設（2024 年 6 月時点）	

## ②人材派遣・職業紹介事業

人材を求める企業と求職者のマッチングにより、雇用の成立をサポートしている。長期短期等の期間を問わず幅広い業務に対応しており、多くの登録スタッフの中から取引先企業のニーズにマッチした人材をマッチングしている。

また高学歴のベトナム人技術者（CAD・金属加工）を中心にサポートを行っている。専属の通訳を有し、人選から入国審査、来日から来日後の生活面まで手厚いフォロー・サポートを行っている。

### 3. 地域の課題解決に向けた取組み

#### ①愛知県の指標

株式会社スタッフシュウエイは、愛知県東海市に本社を構え、愛知県を中心に事業展開している。

愛知県においては、リニア中央新幹線が全線開業しスーパー・メガリージョンの形成が期待される 2040 年頃を展望し、2030 年度までに重点的に取組むべき政策の方向性を示す「あいちビジョン 2030」を 2020 年 11 月に策定した。2030 年度に向けた基本目標として「暮らし」、「経済」、「環境」の指標に加え、SDGs に関連する目標として「重要政策の方向性」を掲げている。

#### <重要政策の方向性> (一部抜粋)

重要政策の方向性	主要な政策の方向性	内容等
すべての人が生涯にわたって活躍できる社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆女性の活躍促進</li> <li>・活躍の場の拡大と職場定着の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性をはじめとした様々な主体の参画</li> <li>・働く場での女性の活躍拡大</li> </ul>
豊かな時間を生み出す働き方が可能な社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆新技術を活用した効率的な働き方の促進</li> <li>・省力化や無人化の促進</li> <li>・移動の効率性向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働時間の短縮や生産性の向上</li> <li>・職場の省力化や無人化を促進</li> <li>・MaaS や自動運転の社会実装を推進</li> <li>・移動時間の最適化や効率的な活用</li> </ul>
イノベーションを巻き起こす力強い産業づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆次世代産業の振興</li> <li>・自動車産業の振興</li> <li>・戦略的な産業集積の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CASE、MaaS 等自動車産業の変革期をリード</li> <li>・EV、PHV 等次世代自動車の更なる普及拡大</li> <li>・長年県内に立地している企業の再投資</li> <li>・産業集積や投資を促進</li> </ul>
持続可能な地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆脱炭素社会を見据えた地球温暖化対策の推進</li> <li>・再生可能エネルギー等の導入拡大と地産地消の推進</li> <li>・環境・新エネルギー産業の振興と ESG 投資の呼び込み</li> <li>・廃棄物の適正処理に向けた取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギーの主力電源化</li> <li>・太陽エネルギーの更なる活用</li> <li>・グリーン購入の促進</li> <li>・省エネルギー設備の導入</li> <li>・再生可能エネルギーの利用</li> <li>・プラスチックごみへの対策</li> <li>・製造、流通、使用、廃棄における 3 R</li> </ul>

## ②株式会社スタッフシュウエイの取組み

### I.介護福祉事業の展開による高齢化社会への貢献

高齢化社会が進行する中で、医療・介護事業の社会的な必要性が日々高まる中で、株式会社スタッフシュウエイでは以下の取組みにより入所者の安心・快適な生活を支え「人生 100 年時代」をいきいきと過ごせる環境づくりを行っている。

#### ①施設衛生環境への配慮

各介護施設に「電解水衛生環境システム」を導入、施設内の清掃に洗浄力と除菌力に優れた電解水を使用し洗剤を使用しない清掃を行うことで環境面・衛生面に配慮した環境づくりを行っている。

#### ②入居者への安心・快適な居住環境の整備・提供

ナーシングホームについては基本的に入居者定員が 20～49 名程度の中規模施設としている。居住スペースは完全個室とし、エアコンや介護ベッドなど生活に必要な家具・家電を各部屋に標準で備え付けることで、“もうひとつの我が家”として自宅に近い感覚で過ごせる環境を整備している。また日用品についても各入居者が必要なものを施設毎に常備し、品質管理のうえ利用者が安心して使用できるよう提供している。

上記の通り入居者に対しては各入居者やその家族が「ここでよかった」と思える環境づくりに努めるとともに、医療行為が必要な入居者に対しては看護師が 24 時間 365 日常駐し、必要な医療ケアを提供することで健康面への安心・安全を提供し、多様な属性の入居者がいきいきと過ごせる環境を提供している。

### II. 従業員の働きやすい職場環境の整備

株式会社スタッフシュウエイの主力事業である介護事業は、休暇制度の充実や従業員のライフステージに応じた各種支援を行うことで、より活力を持って働くことができるよう以下の労働環境整備の取組みを行うとともに、システムの導入により従業員の困りごとに対してスピーディに対応できる体制を整えている。

#### ① 勤務形態・休暇制度

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・「4 勤 2 休」のシフト勤務制度</li><li>・有給休暇の積極取得</li><li>・通勤車両の貸与制度</li><li>・リフレッシュ休暇制度</li><li>・出産立会いサポート制度</li><li>・人間ドック受診補助制度</li><li>・永年勤続賞</li></ul> |
|---|

② ライフステージに応じた各種経済的支援

- ・家賃補助/住宅ローン返済補助制度
- ・新居祝い金制度
- ・結婚祝い金制度
- ・出産祝い金制度
- ・入学祝い金制度
- ・大学入学/進級祝い金制度
- ・卒園/卒業祝い金制度
- ・県外下宿生応援金制度
- ・親孝行支援制度

③ 業務スキル向上支援

- ・リハビリ職員研修受講サポート制度（外部研修受講時研修費用、交通費、宿泊費用の補助）

### III.環境面への配慮

運営する各介護施設には太陽光パネルを設置し、施設内で使用することでクリーンな電力使用に努めるとともに、施設内の電球はすべてLED化し、環境面に配慮を行っている。

各種業務車両にはエコカーを導入し、環境面への配慮を行っている。

### IV.地域社会への貢献

地域の学校の職業体験を受け入れるなど、自社の介護事業の内容を地域に対し見える化をしている。

また比較的人口の少ない地域へも進出して施設を開所しており、高齢者福祉への貢献、地域人材の採用による雇用への貢献にも寄与している。

#### 4. インパクトの特定

##### ①インパクトマッピングによるインパクト分布

あいち銀行は事業性評価の分析により株式会社スタッフシュウエイの主要、関連業種を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングからポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。分布図中の「赤色」は重要な影響があるカテゴリ、「黄色」は影響があるカテゴリを示す。株式会社スタッフシュウエイの事業活動を通じて関与できるカテゴリに限定して影響を検討する。

なお、当社の事業は主とする介護事業が BtoC の事業が主であること、人材派遣・職業紹介事業の川上・川下事業に対し関与できる状況が少ない（人材を派遣・紹介することによるインパクトは「当社の事業」として記載）ため、「川上の事業」「川下の事業」のインパクトは記載を省略している。

##### ②インパクト分布図（掲載は主要業種のみ）

【当社における事業のインパクト】

	職業斡旋所 (7810)		臨時労働者派遣業 (7820)		住居介護施設 (8710)		高齢者・障害者用居住ケアサービス (8730)	
	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ
水(可用性)								
食料								
住居					黄色		黄色	
健康・衛生					黄色	黄色	黄色	黄色
教育								
雇用	黄色	黄色	黄色	黄色	赤色	黄色	赤色	黄色
エネルギー								
移動手段 (モビリティ)								
情報								
文化・伝統								
人格と人の 安全保障					黄色	黄色	黄色	黄色
正義・公正								
強固な制度・ 平和・安定								
水(品質)								
大気								
土壌								
生物多様性と 生態系サービス								
資源効率・ 安全性								
気候								
廃棄物		黄色		黄色		黄色		黄色
包括的で 健全な経済	赤色		赤色					
経済収束								

### <介護事業>

ポジティブインパクト：「住居」「健康・衛生」「雇用」「人格と人の安全保障」

ネガティブインパクト：「健康・衛生」「雇用」「人格と人の安全保障」「廃棄物」

介護事業に関して、高齢者に対し健康・安心に暮らせる環境を提供することで「住居」「健康・衛生」「人格と人の安全保障」に対するポジティブインパクトが期待される。また、業容を拡大し、介護に従事する人材を積極的に採用することにより「雇用」においてもポジティブインパクトが見込まれている。当社では比較的人口の少ない地域にも介護施設を開所しており、一般的にサービスが行き届きづらい地域に対しても福祉サービス、雇用機会を提供可能とすることでポジティブインパクトの拡大に寄与している。

ネガティブインパクトに関して、「健康・衛生」「雇用」「人格と人の安全保障」「廃棄物」への影響が指摘される。

当社では従業員に対して4勤2休の勤務形態による休日の確保、それぞれのライフステージに応じた休暇制度や経済的支援制度の整備により従業員が心身ともに充実した状態で継続的に業務に臨む体制づくりに努めている。また業務スキル向上のための費用補助等により従業員の自己啓発・能力アップの機会提供を行っている。

入居者に対しては基本的に居住スペースを個室とすることで自宅に近い住環境を提供するほか、看護師の24時間365日常駐による医療体制の整備、「電解水衛生環境システム」導入による施設内の衛生環境の維持に努めるなど、入居者が安心・快適に過ごせる環境づくりに特に注力し、「健康・衛生」「人格と人の安全保障」のネガティブインパクトの縮減に努めている。

「廃棄物」に関して、入居者の生活に伴う廃棄物や医療行為に伴う廃棄物については適切に回収・処理を行い環境面への影響に配慮している。またリネン品やおしぼり等の日中で使用されるものについては在庫の適切な管理や丁寧な使用、メンテナンスを行う事で適正な使用量となるよう検討していく。

### <人材派遣・職業紹介事業>

ポジティブインパクト：「雇用」「包括的で健全な経済」

ネガティブインパクト：「雇用」「廃棄物」

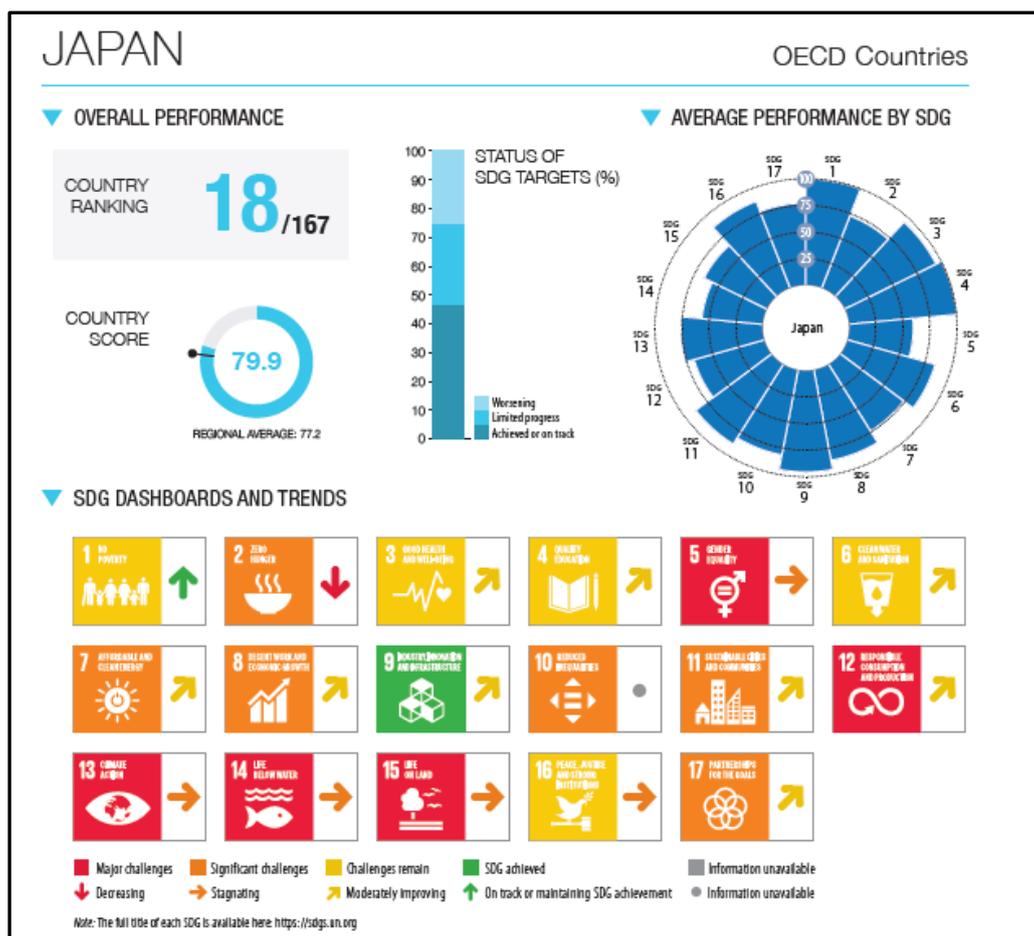
人材派遣業に関して、人材を求める企業に対し適切な人材を紹介・派遣することで取引先企業の人材確保および経済活動に対し貢献するとともに、派遣される人材に対しても働く機会を提供することでポジティブインパクトの拡大に寄与している。

ネガティブインパクトに関して、特に派遣先企業とのミスマッチに起因する「雇用」への影響が指摘されるが、派遣前および派遣後の人材に対する細かな面談・フォローにより派遣者が安心して働くことのできる環境を整えることでネガティブインパクト縮減に努めている。

### ③国内のインパクトニーズ

下記に示したのは、「SDGs インデックス & ダッシュボード 2024」を参照したものであり、「SDGs 達成を緑色」、「課題が残っている SDGs を黄色」、「重要な課題を橙色」、「主要な課題を赤色」としている。

「4.インパクトの特定」においてあいち銀行が特定した株式会社スタッフシュウエイのインパクトと対応する SDGs のゴール「3、8、11、12」について、多くが課題のあるゴールに該当するものとなっており、国内のインパクトニーズと整合的である。



特定したインパクトカテゴリー	対応する SDGs のゴール
「住居」「健康・衛生」 「人格と人の安全保障」	3 「すべての人に健康と福祉を」 11 「住み続けられるまちづくりを」
「廃棄物」	12 「つくる責任、つかう責任」
「雇用」「包括的で健全な経済」	8 「働きがいも経済成長も」

#### ④特定したインパクトに対するあいち銀行の方向性との確認

あいち銀行およびその親会社であるあいちフィナンシャルグループは、経営ビジョンのパーパスに「金融サービスを通じて、地域社会の繁栄に貢献します」を掲げ、その理念の下、事業活動を通じ「持続可能な社会の実現」と「当社グループの持続的な成長」を目指している。あいちフィナンシャルグループではサステナビリティ方針として「環境課題への対応方針」「社会課題への対応方針」「サステナビリティ推進体制」を定めており、上記分析で特定した株式会社スタッフシュウエイの事業活動によるインパクトは、あいちフィナンシャルグループのサステナビリティ方針と整合的である。

## 5. 測定する KPI

### ①介護事業の強化による高齢化社会に対する貢献および人材派遣業を通じた取引先企業の成長支援

項目	内容
インパクトの種類	社会面・経済面でのポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリー	「住居」「健康・衛生」「雇用」「人格と人の安全保障」 「包括的で健全な経済」
関連する SDGs	  
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な新規施設開所による地域ニーズへの対応</li> <li>良質なサービスの提供による入居者の確保</li> <li>人材派遣業におけるスタッフ・派遣先企業へのきめ細かい対話・フォローの実施</li> </ul>
KPI・目標	<p>①令和 11 年 6 月期までに売上高 250 億円を達成する (令和 6 年 6 月期：129.9 億円、令和 5 年 6 月期：77.9 億円、令和 4 年 6 月期：47.1 億円)</p> <p>②令和 11 年 6 月期までに介護事業における売上高 220 億円を達成する (令和 6 年 6 月期：106.2 億円、令和 5 年 6 月期：57.8 億円、令和 4 年 6 月期：32.1 億円)</p> <p>③令和 11 年 6 月期までにナーシングホームを新たに 60 施設開設する (令和 6 年 6 月期時点の総施設数：38 施設)</p>

### ②適切な資源利用による環境への配慮

項目	内容
インパクトの種類	環境面でのネガティブインパクトの縮小
インパクトカテゴリー	「廃棄物」
関連する SDGs	
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設毎管理としていたリネン品を本部管理とすることによる適切な在庫管理</li> <li>・洗濯等の丁寧なメンテナンスの継続によるリネンの品質保持と有効活用</li> </ul>
KPI・目標	<p>①令和 7 年 6 月期中にナーシングホーム部門における 1 施設あたりのシーツ（リネン）使用量を可視化・把握し、令和 9 年 6 月期までに使用量を 5%削減する</p> <p>※以降の目標は改めて設定する</p>

### ③働きやすい職場環境構築による専門人材確保・活躍支援

項目	内容
インパクトの種類	社会面でのポジティブインパクトの拡大
インパクトカテゴリー	「雇用」
関連する SDGs	
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設開設地域への採用活動の積極展開</li> <li>・福利厚生制度の充実や柔軟な勤務形態の検討等、働きやすい環境の整備</li> </ul>
KPI・目標	<p>①令和 11 年 6 月期までに介護士資格者を 350 名新規採用する（令和 7 年 2 月時点：1,451 名）</p>

## 6. インパクトの管理体制

株式会社スタッフシュウエイは、最高責任者を内藤社長として組織的にインパクトの管理体制を整備している。また、内藤社長を中心にサステナビリティ経営の充実に向けた施策の検討及び実施・検証する体制を構築している。

<管理体制>

最高責任者	内藤 明
担当部署	代表取締役

## 7. モニタリング方法

PIF で設定した KPI の進捗に対するモニタリングは、管理責任者であるインパクト管理部署と株式会社あいち銀行の担当部署（営業店および営業企画部ファイナンス戦略グループ）が年 1 回以上の協議にて確認する。

協議において、株式会社スタッフシュウエイは設定した KPI の達成度について情報を開示する。株式会社あいち銀行は、達成度・進捗度を確認・検証したうえで、必要があれば KPI の修正を検討し、同社に対して適切な助言を行い支援する。

また、モニタリング実施状況については、株式会社格付投資情報センター（R&I）による包括的な年次レビューを受ける。

## 8. 総括

本件については、UNEP FI の「ポジティブインパクト金融原則」に準拠したファイナンスであり、株式会社スタッフシュウエイの事業活動がポジティブインパクトの増大およびネガティブインパクトの低減につながることを確認した。また、KPI 達成に向けた取組みやモニタリングを通じ、持続的な ESG および SDG s への貢献につながる取組みであることを確認した。

以 上



# セカンドオピニオン

## あいち銀行 ポジティブインパクトファイナンス

2025年2月28日

## 株式会社スタッフシュウエイ

サステナブルファイナンス本部

担当アナリスト：新井 真美

格付投資情報センター(R&I)はあいち銀行がスタッフシュウエイに対して実施するポジティブインパクトファイナンスについて国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)が制定したポジティブインパクト金融原則(PIF 原則)に適合していることを確認した。

R&Iは別途、あいち銀行(旧愛知銀行・旧中京銀行)のポジティブインパクトファイナンス実施体制がPIF原則に適合していることを確認している<sup>1</sup>。今回のファイナンスに関してあいち銀行の調査資料の閲覧と担当者への質問を実施し、実施体制の業務プロセスがPIF原則に準拠して適用されていることを確認した。

あいち銀行が実施するインパクトファイナンスの概要は以下のとおり。

### (1) 対象先

社名	株式会社スタッフシュウエイ
所在地	愛知県東海市
設立	2002年1月
資本金	10,600,000円
事業内容	介護事業、一般労働者派遣事業、有料職業紹介事業、外国人技能実習サポート事業
売上高	12,992百万円(2024年6月期)
従業員数	1,844名(2024年6月末時点)

### (2) インパクトの特定

あいち銀行は対象先の事業内容や活動地域等についてヒアリングを行い、バリューチェーンの各段階において発現するインパクトを分析し、特定したインパクトカテゴリをSDGsに対応させてインパクトニーズを確認した。また、当社の事業活動が影響を与える地域におけるインパクトニーズとの整合性について、持続可能な開発ソリューションネットワーク(SDSN)が提供するSDGダッシュボードなどを参照し確認した。

### (3) インパクトの評価

あいち銀行は特定したインパクトの実現を測定できるようインパクトの内容を整理してKPIを設定した。ポジティブインパクトはSDGs達成に寄与する取り組みとして追加性があると判断した。また、あいちフィナンシャルグループが掲げるサステナビリティ方針と方向性が一致することを確認した。

<sup>1</sup> 2022年7月13日付セカンドオピニオン「愛知銀行 あいぎんポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体制」  
[https://www.r-i.co.jp/news\\_release\\_suf/2022/07/news\\_release\\_suf\\_20220713\\_jpn\\_01.pdf](https://www.r-i.co.jp/news_release_suf/2022/07/news_release_suf_20220713_jpn_01.pdf)  
2023年4月21日付セカンドオピニオン「<中京>ポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体制」  
[https://www.r-i.co.jp/news\\_release\\_suf/2023/04/news\\_release\\_suf\\_20230421\\_jpn\\_1.pdf](https://www.r-i.co.jp/news_release_suf/2023/04/news_release_suf_20230421_jpn_1.pdf)

① 介護事業の強化による高齢化社会に対する貢献および人材派遣業を通じた取引先企業の成長支援

インパクトの種類	社会面・経済面でのポジティブインパクトの拡大
インパクトカテゴリ	「住居」「健康・衛生」「雇用」「人格と人の安全保障」「包括的で健全な経済」
関連する SDGs	  
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な新規施設開所による地域ニーズへの対応</li> <li>良質なサービスの提供による入居者の確保</li> <li>人材派遣業におけるスタッフ・派遣先企業へのきめ細かい対話・フォローの実施</li> </ul>
KPI・目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>令和 11 年 6 月期までに売上高 250 億円を達成する (令和 6 年 6 月期:129.9 億円、令和 5 年 6 月期:77.9 億円、令和 4 年 6 月期:47.1 億円)</li> <li>令和 11 年 6 月期までに介護事業における売上高 220 億円を達成する (令和 6 年 6 月期:106.2 億円、令和 5 年 6 月期:57.8 億円、令和 4 年 6 月期:32.1 億円)</li> <li>令和 11 年 6 月期までにナーシングホームを新たに 60 施設開設する (令和 6 年 6 月期時点の総施設数:38 施設)</li> </ol>

② 適切な資源利用による環境への配慮

インパクトの種類	環境面でのネガティブインパクトの縮小
インパクトカテゴリ	「廃棄物」
関連する SDGs	
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設毎管理としていたリネン品を本部管理とすることによる適切な在庫管理</li> <li>洗濯等の丁寧なメンテナンスの継続によるリネンの品質保持と有効活用</li> </ul>
KPI・目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>令和 7 年 6 月期中にナーシングホーム部門における 1 施設あたりのシーツ(リネン)使用量を可視化・把握し、令和 9 年 6 月期までに使用量を 5%削減する ※以降の目標は改めて設定する</li> </ol>

③ 働きやすい職場環境構築による専門人材確保・活躍支援

インパクトの種類	社会面でのポジティブインパクトの拡大
インパクトカテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設開設地域への採用活動の積極展開</li> <li>福利厚生制度の充実や柔軟な勤務形態の検討等、働きやすい環境の整備</li> </ul>
KPI・目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>令和 11 年 6 月期までに介護士資格者を 350 名新規採用する (令和 7 年 2 月時点:1,451 名)</li> </ol>

#### (4) モニタリング

あいち銀行は対象先の担当者との会合を少なくとも年に1回実施し、本 PIF で設定した KPI の進捗状況について共有する。日々の営業活動を通じた情報交換も行い対象先のインパクト実現に向けた支援を実施する。

以上

## 【留意事項】

本資料に関する一切の権利・利益（著作権その他の知的財産権及びノウハウを含みます）は、特段の記載がない限り、R&Iに帰属します。R&Iの事前の書面による承諾無く、本資料の全部又は一部を使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）することは認められません。

R&Iは、本資料及び本資料の作成に際して利用した情報について、その正確性、適時性、網羅性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明又は保証をするものではありません。

また、本資料に記載された情報の誤り、脱漏、不適切性若しくは不十分性、又はこれらの情報の使用に関連して発生する全ての損害、損失又は費用について、債務不履行、不法行為又は不当利得その他請求原因の如何やR&Iの帰責性を問わず、いかなる者に対しても何ら義務又は責任を負いません。

セカンドオピニオンは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。

セカンドオピニオンは、企業等が環境保全及び社会貢献等を目的とする資金調達のために策定するフレームワークについての公的機関又は民間団体等が策定する当該資金調達に関連する原則等との評価時点における適合性に対するR&Iの意見です。R&Iはセカンドオピニオンによって、適合性以外の事柄（債券発行がフレームワークに従っていること、資金調達の目的となるプロジェクトの実施状況等を含みます）について、何ら意見を表明するものではありません。また、セカンドオピニオンは資金調達の目的となるプロジェクトを実施することによる成果等を証明するものではなく、成果等について責任を負うものではありません。セカンドオピニオンは、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではなく、またそのように解されてはならないものであるとともに、投資判断や財務に関する助言を構成するものでも、特定の証券の取得、売却又は保有等を推奨するものでもありません。セカンドオピニオンは、特定の投資家のために投資の適切性について述べるものでもありません。R&Iはセカンドオピニオンを行うに際し、各投資家において、取得、売却又は保有等の対象となる各証券について自ら調査し、これを評価していただくことを前提としております。投資判断は、各投資家の自己責任の下に行われなければなりません。

R&Iがセカンドオピニオンを行うに際して用いた情報は、R&Iがその裁量により信頼できると判断したものであるものの、R&Iは、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、セカンドオピニオン及びこれらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明又は保証をするものではありません。

R&Iは、R&Iがセカンドオピニオンを行うに際して用いた情報、セカンドオピニオンの意見の誤り、脱漏、不適切性若しくは不十分性、又はこれらの情報やセカンドオピニオンの使用に起因又は関連して発生する全ての損害、損失又は費用（損害の性質如何を問わず、直接損害、間接損害、通常損害、特別損害、結果損害、補償損害、付随損害、逸失利益、非金銭的損害その他一切の損害を含むとともに、弁護士その他の専門家の費用を含むものとします）について、債務不履行、不法行為又は不当利得その他請求原因の如何やR&Iの帰責性を問わず、いかなる者に対しても何ら義務又は責任を負わないものとします。セカンドオピニオンに関する一切の権利・利益（特許権、著作権その他の知的財産権及びノウハウを含みます）は、R&Iに帰属します。R&Iの事前の書面による許諾無く、評価方法の全部又は一部を自己使用の目的を超えて使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）し、又は使用する目的で保管することは禁止されています。

セカンドオピニオンは、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。

R&IのR&Iグリーンボンドアセスメントは、グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度に対するR&Iの意見です。R&Iグリーンボンドアセスメントでは、グリーンボンドフレームワークに関してのセカンドオピニオンを付随的に提供する場合があります。対象事業の環境効果等を証明するものではなく、環境効果等について責任を負うものではありません。R&Iグリーンボンドアセスメントは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。

R&Iグリーンボンドアセスメントは、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではなく、またそのように解されてはならないものであるとともに、投資判断や財務に関する助言を構成するものでも、特定の証券の取得、売却又は保有等を推奨するものでもありません。R&Iグリーンボンドアセスメントは、特定の投資家のために投資の適切性について述べるものでもありません。R&IはR&Iグリーンボンドアセスメントを行うに際し、各投資家において、取得、売却又は保有等の対象となる各証券について自ら調査し、これを評価していただくことを前提としております。投資判断は、各投資家の自己責任の下に行われなければなりません。

R&IがR&Iグリーンボンドアセスメントを行うに際して用いた情報は、R&Iがその裁量により信頼できると判断したものであるものの、R&Iは、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明又は保証をするものではありません。

R&Iは、資料・情報の不足や、その他の状況により、R&Iの判断でR&Iグリーンボンドアセスメントを保留したり、取り下げたりすることがあります。

R&Iは、R&IがR&Iグリーンボンドアセスメントを行うに際して用いた情報、R&IのR&Iグリーンボンドアセスメントその他の意見の誤り、脱漏、不適切性若しくは不十分性、又はこれらの情報やR&Iグリーンボンドアセスメントの使用、あるいはR&Iグリーンボンドアセスメントの変更・保留・取り下げ等に起因又は関連して発生する全ての損害、損失又は費用（損害の性質如何を問わず、直接損害、間接損害、通常損害、特別損害、結果損害、補償損害、付随損害、逸失利益、非金銭的損害その他一切の損害を含むとともに、弁護士その他の専門家の費用を含むものとします）について、債務不履行、不法行為又は不当利得その他請求原因の如何やR&Iの帰責性を問わず、いかなる者に対しても何ら義務又は責任を負わないものとします。

R&Iグリーンボンドアセスメントは、原則として申込者から対価を受領して実施したものです。

## 【専門性・第三者性】

R&Iは2016年にR&Iグリーンボンドアセスメント業務を開始して以来、多数の評価実績から得られた知見を蓄積しています。2017年からICMA（国際資本市場協会）に事務局を置くグリーンボンド原則／ソーシャルボンド原則にオブザーバーとして加入しています。2018年から環境省のグリーンボンド等の発行促進体制整備支援事業の発行支援者（外部レビュー部門）に登録しています。また、2022年から経済産業省の温暖化対策促進事業におけるトランジション・ファイナンスの指定外部評価機関に採択されています。

R&Iの評価方法、評価実績等についてはR&Iのウェブサイト（<https://www.r-i.co.jp/rating/esp/index.html>）に開示しています。

R&Iは2022年12月、金融庁が公表した「ESG評価・データ提供機関に係る行動規範」（以下、「行動規範」という。）の趣旨に賛同し、これを受け入れる旨を表明しました。行動規範の6つの原則とその実践のための指針へのR&Iの対応状況についてはR&Iのウェブサイト（<https://www.r-i.co.jp/rating/products/esp/index.html>）に開示しています（以下、「対応状況の開示」という。）。

R&Iと資金提供者及び資金調達者との間に利益相反が生じると考えられる資本関係及び人的関係はありません。

なお、R&IはESGファイナンスによる資金提供あるいは資金調達を行う金融機関との間で、金融機関の顧客にR&IのESGファイナンス評価を紹介する契約を締結することがありますが、R&Iは、独立性を確保する措置を講じています。詳細は対応状況の開示をご覧ください。